

「踏み出せばその一足が道となりー」。アントニオ猪木さんが引退スピーチで述べた詩「道」は多くの人の人生訓となり、さまざまな分野に影響を与えた。

7月27日にインターハイ初出場を果たした八戸学院野辺地西高サッカー部。初戦で大津高（熊本）に力の差を見せつけられた。特に前半、青森県大会決勝で披露した粘り強い守備は影を潜め、消極的なプレーが目立った。ハーフタイムに三上晃監督はチームへ厳しい言葉を投げかけた。
後半は打って変わって競

道

報道部 桑田友人



り合いで引かず、攻める場面もつくった。「楽しかった」。選手の一人は強豪に刺激を受けた様子だった。

正直に言って、前半終了時はなすすべがないように思えた。それでも選手たちは後半、恐れずにうつそうとした茂みに分け入って、好機をつくり出した。

どんな挑戦も一歩目はいばらの道。「暗闇で振り回す両手もやがて上昇気流を生むんだ」。八学野西が全国の舞台で勝利する瞬間を想像した時、猪木さんの詩に影響を受けた、あるバンドの歌詞が思い浮かんだ。